



# LINN Manage Systems

How to Use Manage Systems

---

## <Manage Systems マニュアル 目次 PDFページ数>

- LINN アカウントの作成/DS,DSMの登録 4P
- Manage Systemsの内容 7P～
- Manage Systems各項目の詳細 10P～

# Manage Systemsへのログイン方法

How To Login to Manage Systems

---

Manage Systems 参考資料

## LINN アカウントの作成

① LINN Manage Systemをお使い頂くにあたり、LINNのアカウントを取得する必要があります。

最初に、操作ソフト「LINN App」を起動し、ウインドウ右下の「もっと」をクリックします。

②ウインドウ最上部の「LINNマーク」をクリックします。「ログイン」画面になり、一番下にある「Sign-Up」をクリックします。

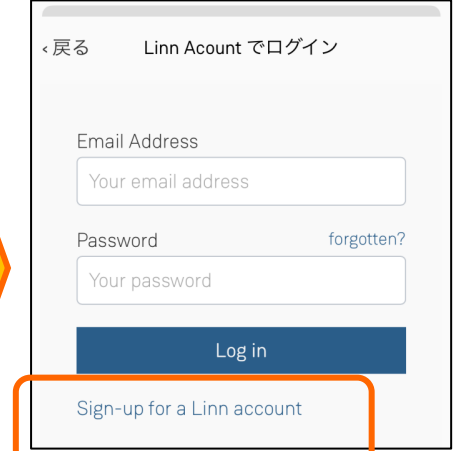
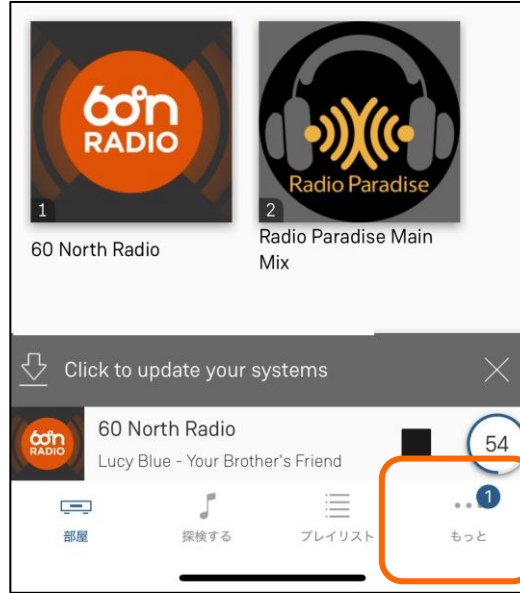
③Register(登録画面)になりますので、メールアドレス、パスワード(2回入力)を入力します。

「Register」のボタンを押すと  
Activation ウインドウが開きます。

登録したメールアドレスにLINNよりメールが届きますので、そこに明記されている「Activation Code」をActivation ウインドウに入力するか、認証するためのリンクをクリックすることで承認されます。

※到着するメールにより異なる場合がございます。

これで登録は完了です。



**Register**

Email Address

Password

Repeat Password

By clicking "Register" below, you confirm that you understand and agree to our [privacy policy](#).



**Activate your account**

Before you can log in, we need to verify your email address.

You should shortly receive a email from us containing a six-character activation code.

Enter the code below to activate your account.

Activation Code

Or return to the [login page](#).

次のステップ：

DSM、DSの製品登録

## DS、DSM製品の登録

- ① アカウントが設定終了後、次に製品を登録します。

操作ソフトLINN App を起動し、右下の「もっと」メニューをクリックののち、ウインドウ最上部の「LINNマーク」をクリックします。

アカウント作成済でしたら、表示されたウインドウに登録頂いたEメールアドレス、パスワードを入力し、ログインします。

ログイン完了しますと、「もっと」のページに戻りますので、再度、ウインドウ最上部の「LINNマーク」をクリックします。

ウインドウ上部に「システムの追加/削除」をタッチするとお持ちのDS,DSM製品が表示されますので

右記のように、該当する製品の横にある「+（プラス）」を押すと「-（マイナス）」へ変わります。 これで登録が完了です。

< 戻る      Linn Account でログイン


Email Address

Password [forgotten?](#)

Log in

[Sign-up for a Linn account](#)

<      システムの追加/削除

	Klimax DS	
	Klimax DS	
	TEST 2F	
	Klimax DSM	
	KRENEWDS 2F	
	1431308	

次のステップ：

LINN Manage Systemのアクセス方法 その1

## Manage System ヘログイン

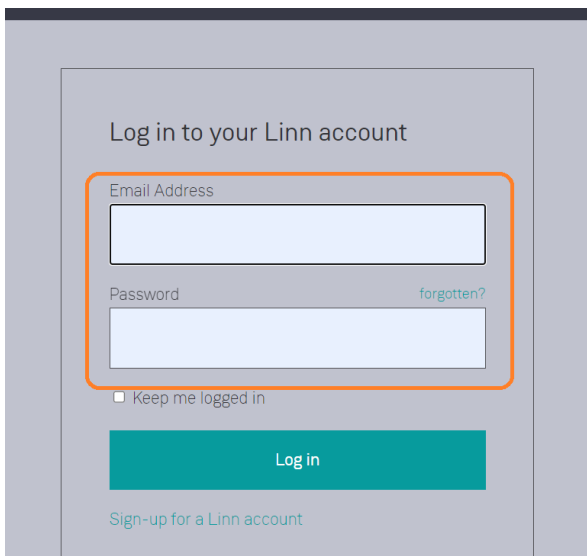
① 前ページにてお使いの製品の登録が完了後、下記のリンクより設定サイト「Manage Systems」へアクセスします。

<LINN Manage Systems>

<https://www.linn.co.uk/account/music-systems>

②ログインのためのウインドウが表示されますので、ご登録いただいたID(メールアドレス)とパスワードを入力します。

③ログインできましたら、右のウインドウに切り替わり、お使いのDS/DSMが表示されます。



Log in to your Linn account

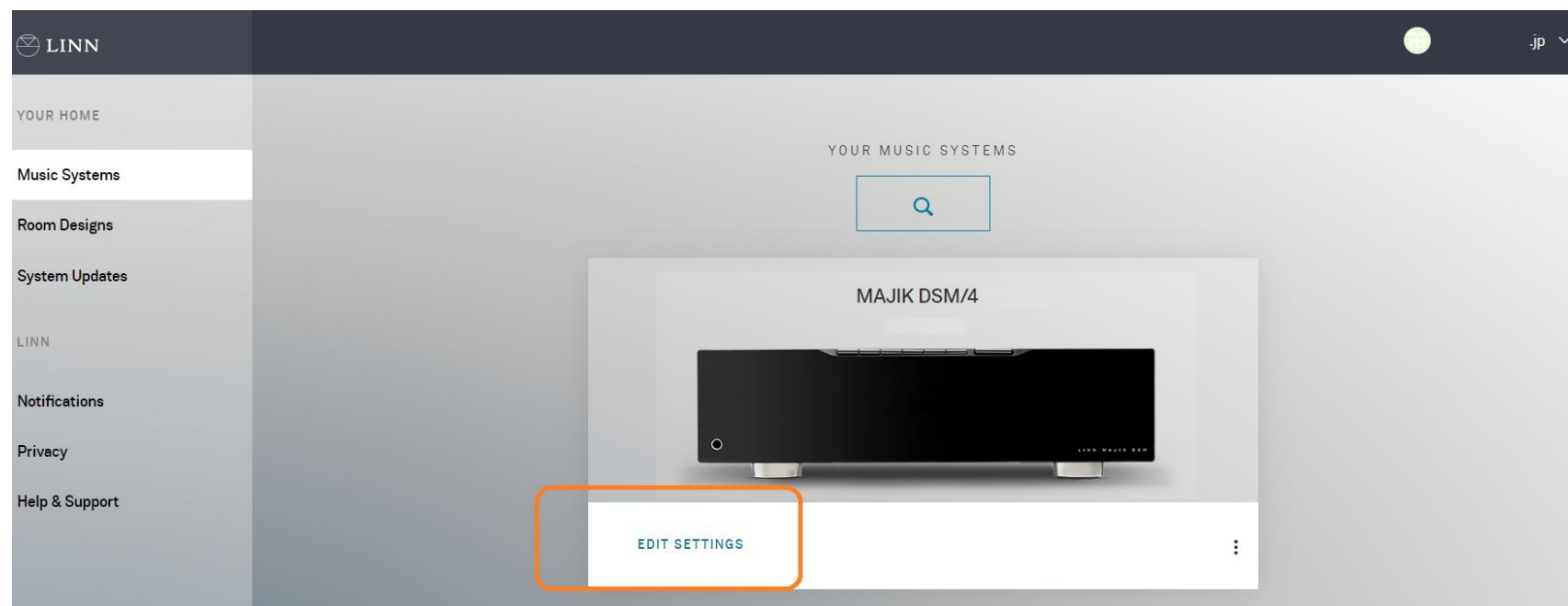
Email Address

Password [forgotten?](#)

☐ Keep me logged in

Log in

[Sign-up for a Linn account](#)



# Manage SystemsのTOPページレイアウト

Details of Manage Systems Top page

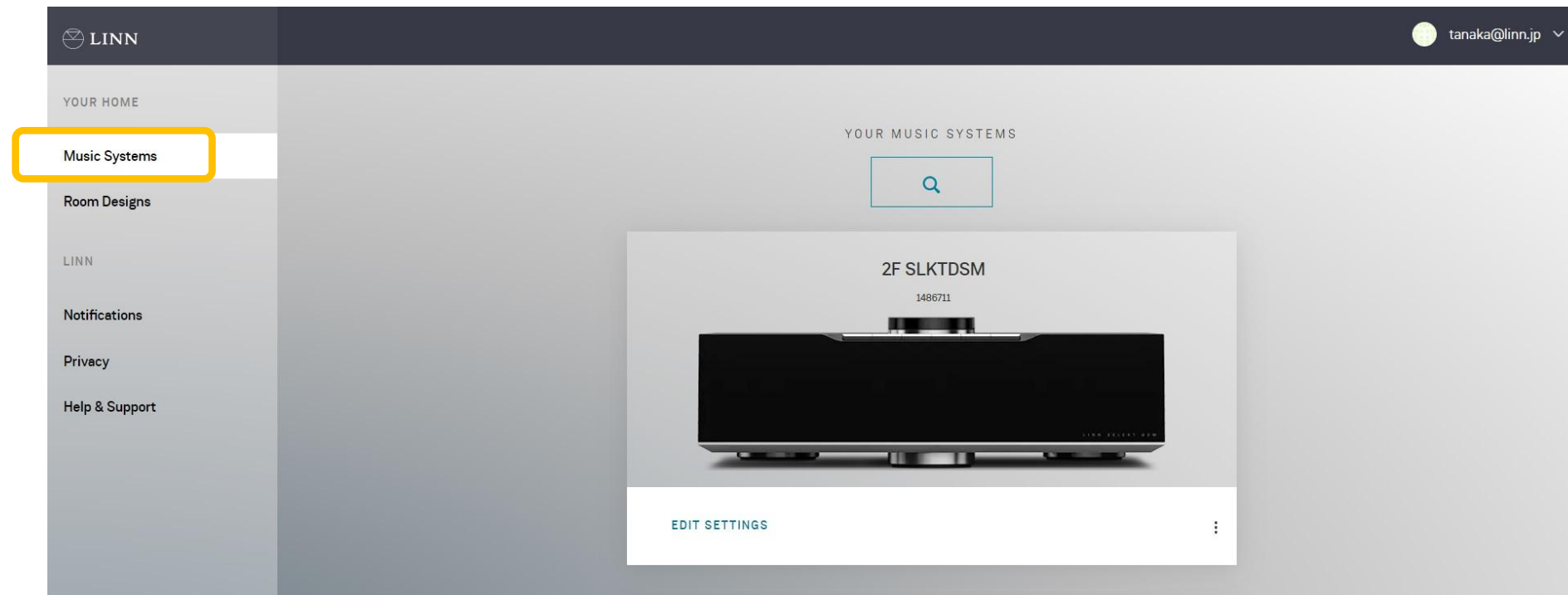
---

Manage Systems 参考資料

## Manage Systems の ウィンドウ各部詳細 ①

Manage Systemsへログイン後に表示されるウィンドウの各所につきまして下記にご案内致します。

①ログイン後には、「Music Systems」が選択され、下記の画像のように、Kazoo、LINN Appで登録した製品が表示されます。



中央に表示されている製品の左下、「Edit Settings」をクリックすると設定の変更などのページに切り替わります。

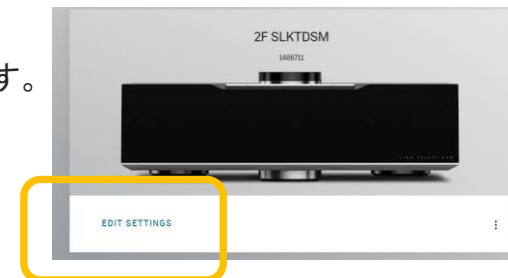
左側の各メニューは、「Room Design」、「Notifications」、「Privacy」、「Help & Support」の4項目がございます。  
左上には、ログインした際のアカунツ情報が表示されております。

次のページにて各所のご案内をさせていただきます。

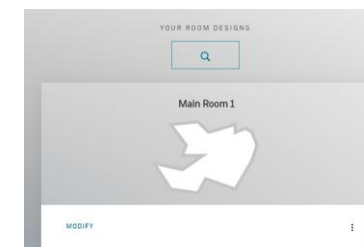


## Manage Systems の ウィンドウ各部詳細 ②

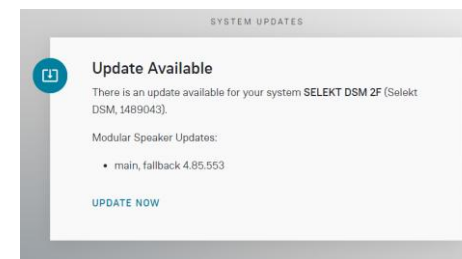
- ① Music Systems : Kazoo、LINN Appよりお客様のLINNアカウントへ登録した製品を表示する項目です。  
各製品の左下、「Edit Settings」より製品の設定画面に移動します。  
(詳細は???ページをご参照ください。)



- ② Room Design: Space Optimisationで使用するお部屋のデザインを閲覧、修正を行う項目です。  
(詳細は???ページをご参照ください。)



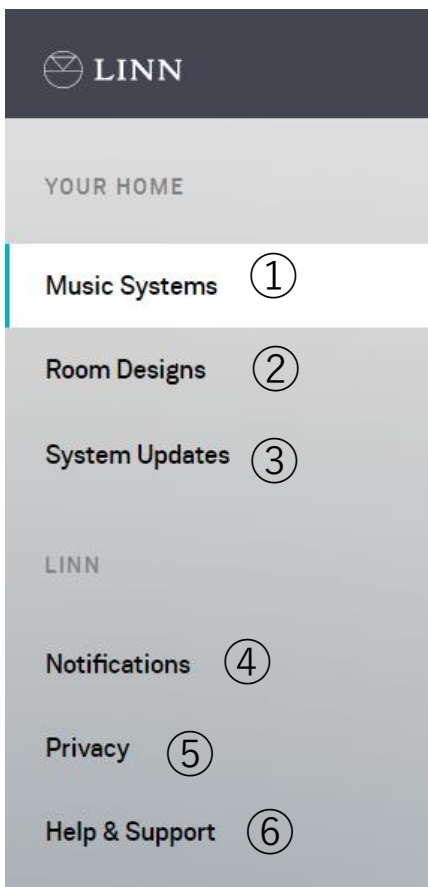
- ③ System Updates : 登録しているDS/DSMのアップデート情報を表示し、アップデートが行えます。



- ④ Notification : Manage Systemsのサーバーのメンテナンス情報など表示します。

- ⑤ Privacy : クリックするとLINN Products社のプライバシー保護についてご案内のページに移動します。(英文)

- ⑥ Help & Support : クリックするとLINN Products社への問い合わせフォームなどが表示されます。(英文)  
製品の設定、ご不明な点は、お手数ではございますが、最初にLINN JAPANまたはお求め頂いた販売店様へお問い合わせください、



# Manage Systems 各項目の詳細

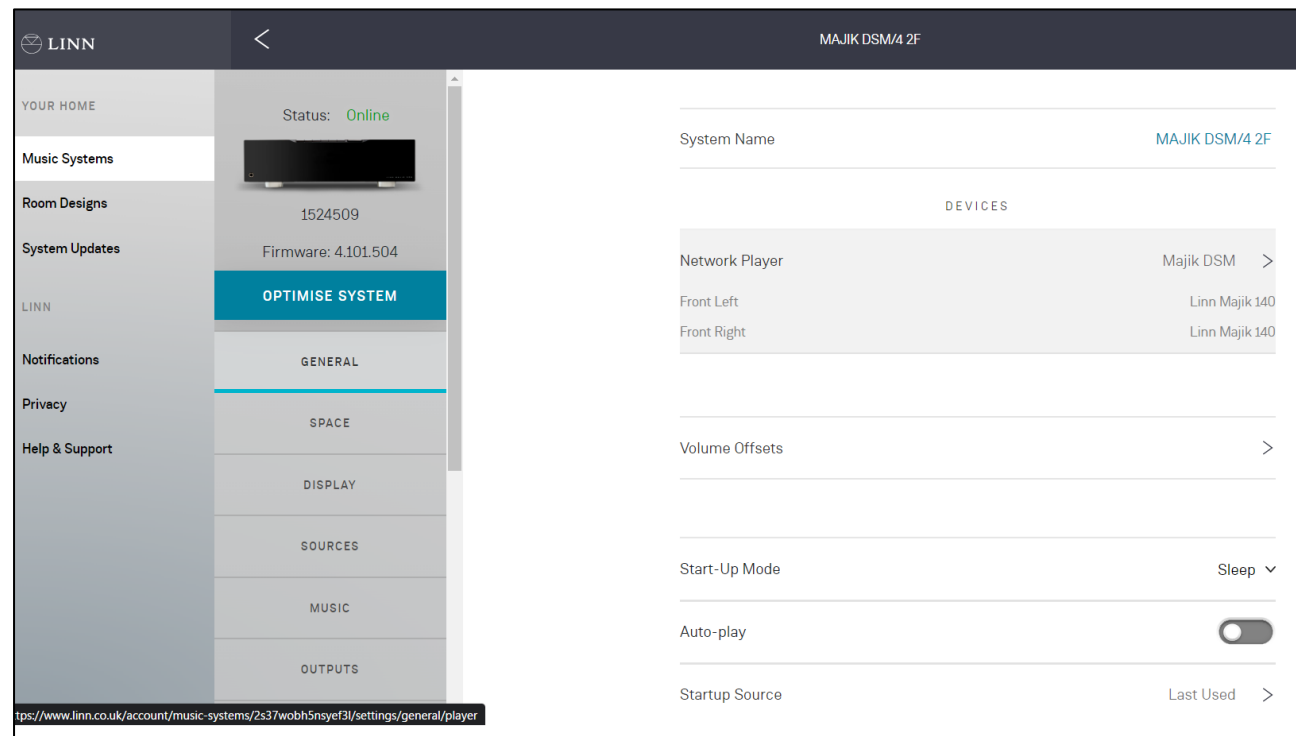
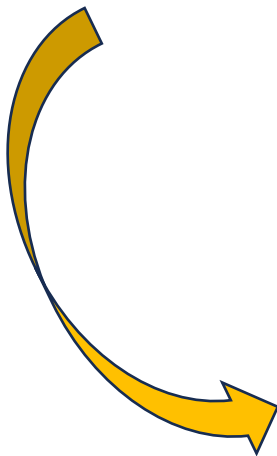
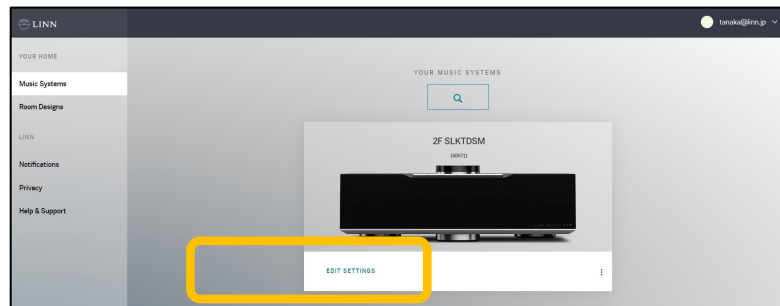
Details of Manage Systems

Manage Systems 参考資料

---

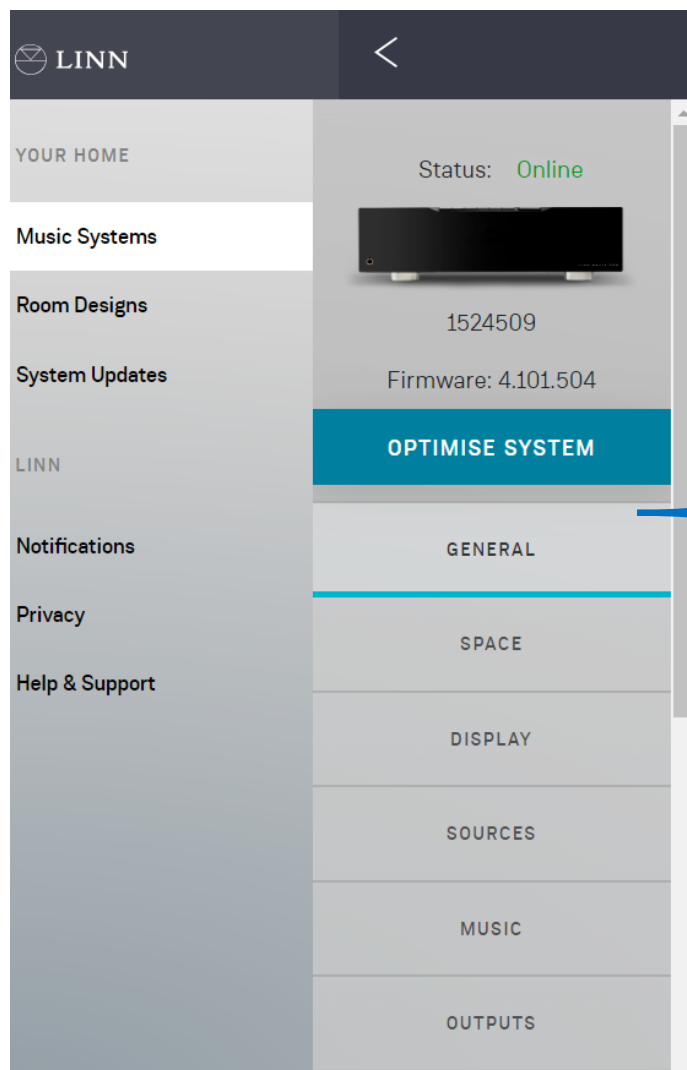
## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 その1

②製品左下の「Edit Settings」をクリックすると、製品の設定、Optimisationなどの設定一覧がご覧いただけます。  
次ページにて、各項目をご案内します。



## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「GENERAL」

製品左下の「Edit Settings」をクリックすると、下記のウインドウが表示されます。  
設定項目「GENERAL」の内容をご案内致します。



System Name: 操作ソフトに表示する名前を変更頂けます。 ※日本語も登録可能。

Network Player (もしくは製品名): クリックすると表示されているDS/DSMの詳細が表示されます。  
※次ページをご確認ください。

Volume Offsets: クリックすると各スピーカーのボリュームオフセットが調整できます。

Start-up Mode: 主電源を入れて起動後の動作を設定します。「Sleep」か「Active」を選択可能

Auto-play: この機能をONにすると起動後に選択されたソースを自動再生します。

Startup Source: 起動時に表示されるソースを選択できます。  
「Last Used」は最後に使用したソースが選択されます。

IPV6 (一部の機種のみ):

Bluetooth (一部の機種のみ):

Analog Input Mode (一部の機種のみ):

Standby Mode: スタンバイ時の動作を選択できます。 Normal (通常)、もしくは Low Power (省電力)

Standby: 右側のスライドをOnにするとスタンバイになります。

Reboot Device: クリックすると再起動します。

Restore Factory Defaults: クリックすると設定を初期化します。

Music Systemsの「Edit Setting」→「GENERAL」→「Network Player(製品名)」項目につきまして

「Edit Settings」から「GENERAL」を選択した際に表示される、設定項目「Network Player(製品名)」の内容をご案内致します。

<

Network Player

Model

Klimax Renew DSM

Serial

1426932

MAC Address

00:26:0f:22:0c:52

Software Version

4.102.508

SPEAKERS

Front Left + Front Right

Akurate 242

CHANGE CONFIGURATION

REMOVE SPEAKERS

BOARDS

2014 variant

Id

PCAS867L1R7

c8000007200cb514

HDMI 1.3

Id

PCAS793L4R1

9e0000071f310014

Model: 製品名が表示されます。

Serial: 製品のシリアル番号

MAC Address: 製品のMACアドレス

Software Version: インストールされているファームウェアバージョン

SPEAKERS: DS/DSMに設定されているスピーカーを表示します。

「CHANGE CONFIGURATION」: スピーカー設定を変更したい場合にクリックします。

Add Speaker

Channel

Front Left + Front Right

▼

Manufacturer

Linn

▼

Model

Akurate 242 \*

▼

\* measured for Space Optimisation

BACK

CHANGE

①Channel : 設定したいチャンネルを選択します。  
ステレオスピーカーでは、Front Left + Rightを選択するのが一般的です。

②Manufacturer: スピーカーのメーカーを選択します。

③スピーカーのモデルを選択します。

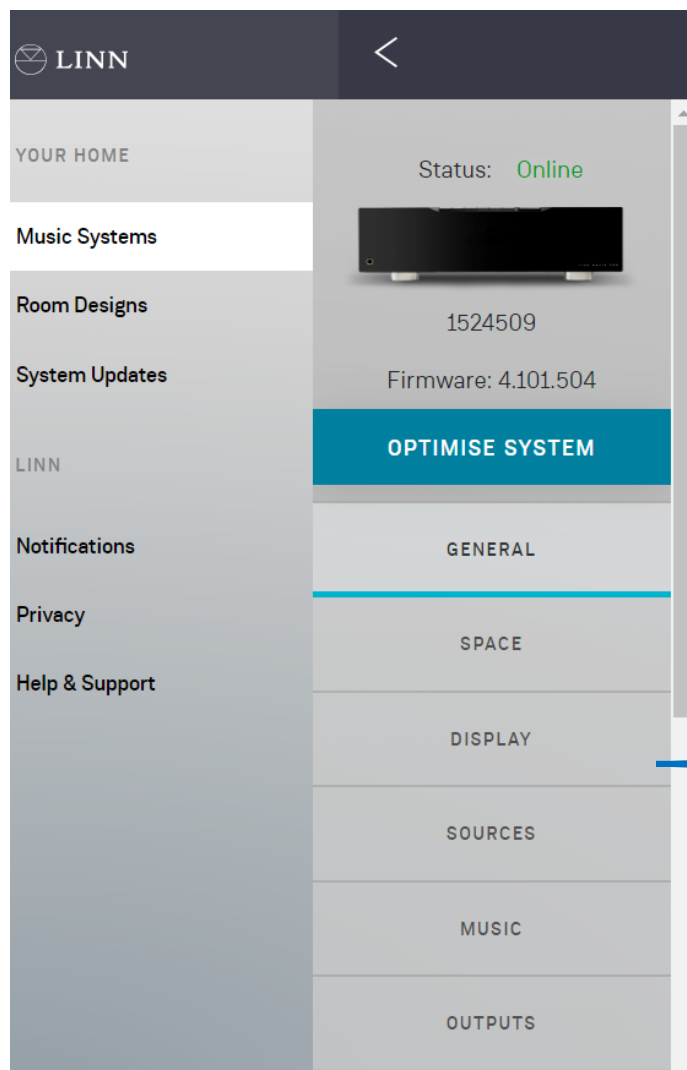
④設定完了後、「CHANGE」を押すと反映されます。

REMOVE SPEAKERS: 設定しているスピーカー設定を削除します。  
※この設定を行うとオプティマイゼーションがキャンセルされます。

BOARDS: 製品内部にインストールされている基板の詳細

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「DISPLAY」

設定項目「DISPLAY」の内容をご案内致します。



Brightness: ディスプレイの明るさの設定 0～100

Sleep Mode: 10秒以上操作指示がない場合に  
ディスプレイを消灯する設定(スライド右側でON)

Power Indicator (Active Mode): 動作時に電源インジケータ LED を  
オンにするには、スライド右側でONにします。  
動作時に電源インジケータ LED をオフにするには、  
スライドを左側(OFF)にします。

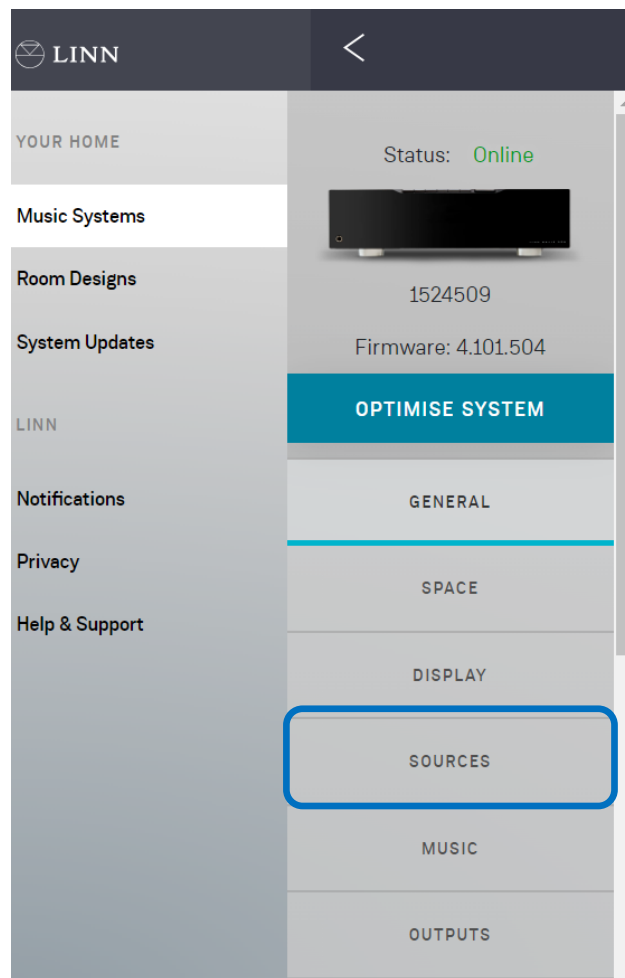
Power Indicator (Sleep Mode): スリープ モード時に電源インジケータ LED を  
オンにするには、スライド右側でONにします。  
スリープ モード時に電源インジケータ LED をオフにするには、  
スライドを左側(OFF)にします。

Wake Display on Proximity Detection: デバイスに近づいたときにフロント パネル ディスプレイ  
を起動するには、[オン] を選択します。

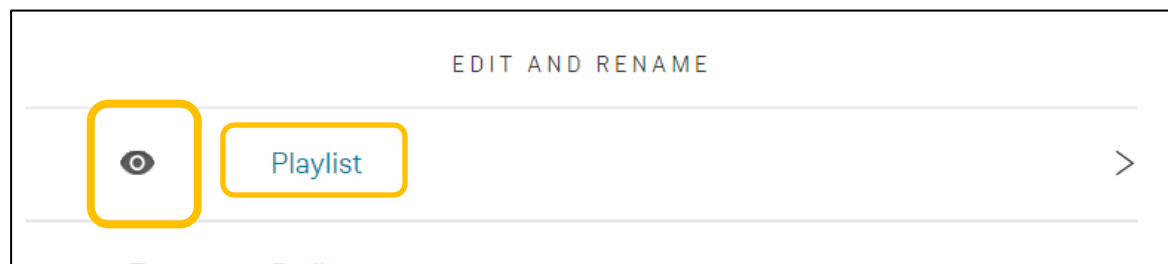
Discrete Mode: デバイスのフロント パネル ディスプレイをディスクリート モード  
(制限された中断) で操作するには、[オン] を選択します。

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「SOURCES」

設定項目「SOURCES」の内容をご案内致します。



この「SOURCES」の項目は、再生するソースの設定を行います。  
各ソースは下記のように表示されます。



左の眼のマークは、濃く表示されていれば、操作ソフトに表示され、  
必要のないソースは、目のマークをクリックする薄いグレーになり、  
操作ソフトには表示されなくなります。

また、各ソースの名称は、ソース名をクリックすると変更が可能です。

右側に「>」があるソースは、名称以外にも設定項目があり、クリックすると表示されます。

各ソースの設定項目は次ページにてご案内致します。

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「SOURCES」 1-2

設定項目「SOURCES」の各入力ソースをご案内致します。

### <各ソース設定 一覧>

**Playlist** 設定項目: Maximum Number of Tracks(最大トラック数 設定 ※最大1000曲まで)

**Balanced** 設定項目: Unity Gain、Volume Offset(dB)、Input Level、Delay Mode

**Analog** 設定項目: Unity Gain、Volume Offset(dB)、Input Level、Delay Mode

**SPDIF** 設定項目: Unity Gain、Volume Offset(dB)、Delay Mode

**TOSLINK** 設定項目: Unity Gain、Volume Offset(dB)、Delay Mode

**HDMI/HDMI ARC** 設定項目: Unity Gain、Volume Offset(dB)、Delay Mode

**EXAKT1 & 2**: 設定項目: Rename

**Roon**: 設定項目: Rename

### <設定項目>

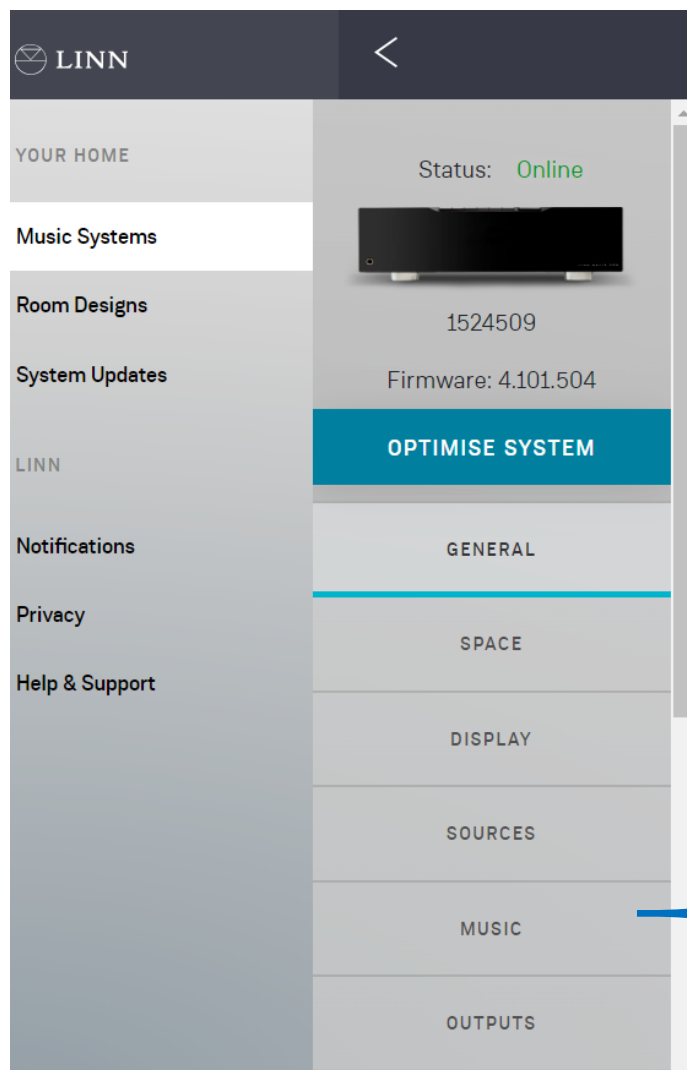
- Unity Gain.....この設定を行うと、設定したソースを選択するとボリュームが「80」に固定されます。
- Volume Offset.....入力されたボリュームの音量を微調整できます。(調整範囲:-15dB~+15dB)
- Input Level.....接続する機器の入力レベルによって入力レベルの設定が可能(1Vrms, 2Vrms, 4Vrms)
- Delay Mode.....選択したソースの遅延を抑える (Minimal(最小)、Video Sync(映像と同期)、Songcast(LINN DS/DSMとの遅延を最小))

Radio、UpnP AV、Songcast、Net Aux、Spotify、Roon : 設定項目なし



## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「MUSIC」

設定項目「MUSIC」の内容をご案内致します。



**Spotify:** Audio Quality (High 320kbit/s, Medium 160kbit/s, Low 96kbit/s)  
※オーディオデータの転送レートを調整します。

**Roon:** Roon Protocol ( Roon Ready / LINN Streaming )  
※転送プロトコルの選択が可能です。  
DSD Decoding: (Roon Decodes / LINN Play )  
※DSDファイル再生時のデコード方法を選択可能です。

**TIDAL :** Enabled (スライダーOn /Off )  
※TIDALの機能をON、OFFの切り替えが可能です。  
Audio Quality (High 320kbit/s, Medium 160kbit/s, Low 96kbit/s)  
※オーディオデータの転送レートを調整します。

**QOBUZ :** Enabled (スライダーOn /Off )  
Audio Quality (Lossless 192Hz, 96KHz, 44.1KHz, Low 320kbit/s)

**DEEZER :** Audio Quality (FLAC 1411kbit/s, High 320kbit/s, Standard 128Kbit/s)

**Calm Radio :** Enabled (スライダーOn /Off )

**Radio Presets Provider :** Tune-in もしくは Airable Radio  
※インターネットラジオソース「Radio」のプリセットの選択

**TuneIn Radio:** Enabled (スライダーOn /Off )  
TuneIn Username (TuneIn サイトでのアカウント名を入力可能  
初期設定は「 linnproducts 」)

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「OUTPUTS」

設定項目「OUTPUTS」の内容をご案内致します。

**SPDIF Mode** : SPDIF (同軸デジタル) 端子を入力 (Input) とするか、出力 (Output) にするかの切り替え

**DIGITAL Output Mode** : デジタル出力の信号を下記の様に設定可能です。

Raw ... 再生しているソースと同じサンプリング周波数で出力  
 Fixed Sample Rate 88.2/96KHz ... 出力するデジタル信号を88.2KHzか96KHzに固定  
 Fixed Sample Rate 192KHz ... 出力するデジタル信号を192KHzに固定  
 ※注 上記の出力設定は、Space Optimisationは反映されません。

Post EQ 192KHz ... デジタル出力信号にSpace Optimisationの設定を反映する場合はこのモードを選択

Disable ... デジタル出力をしない設定

**Headphone Mode**: ヘッドフォンジャックの設定です。

ヘッドフォン端子を接続したときのみONになる設定は、「Auto」  
 ヘッドフォン端子を常時ONにしたい場合は「ON」  
 ヘッドフォン端子を常時OFFにしたい場合は「OFF」

**Subwoofer** : Subwoofer出力の設定を行います。

**Subwoofer Filter**: 有効化 (Enable) もしくは無効化 (Disable) の切り替え

**Subwoofer Crossover Frequency** : サブウーファー出力の周波数 60Hz/80Hz/120Hz

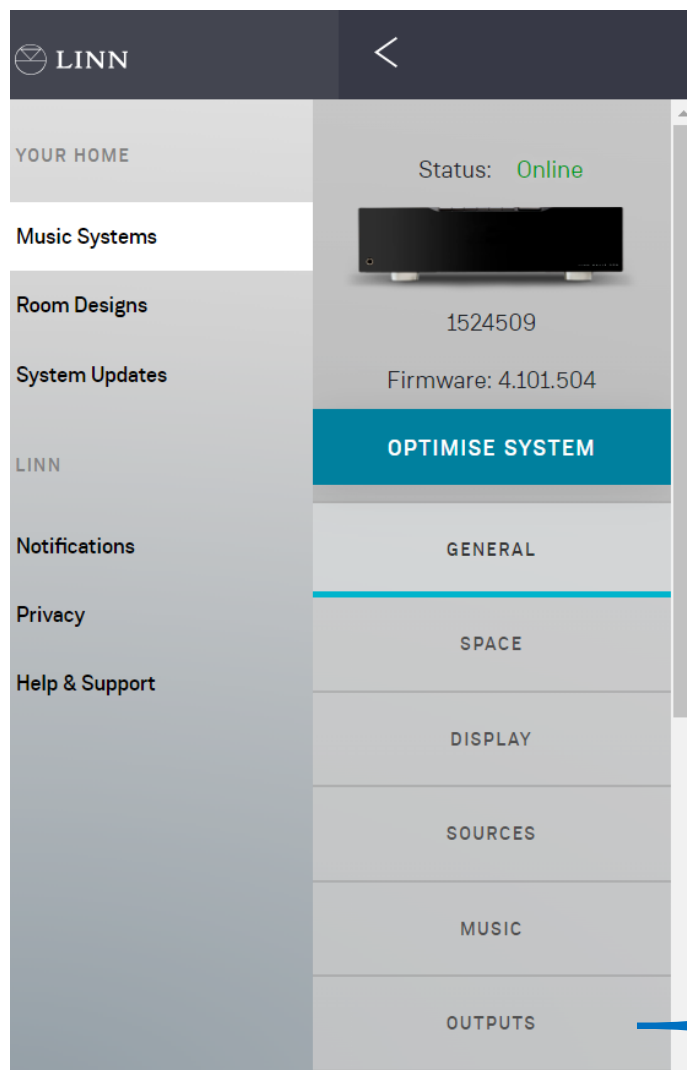
**Subwoofer Crossover Type**:

低音域をサブウーファーと標準スピーカーの両方に送るには、「Bass Reinforcement」を選択。

低音域をサブウーファーに、高音域を標準スピーカーに送る場合には、「Bass Redirect」を選択。

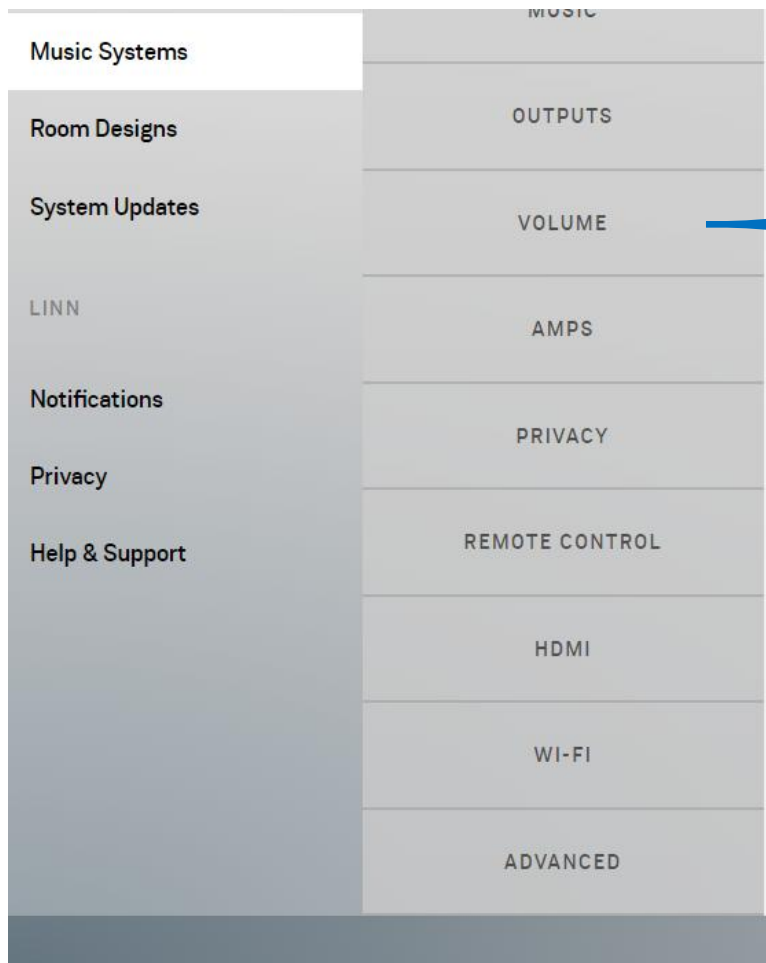
**Subwoofer Channels**: ステレオサブウーファー出力を有効にするには「ステレオ」を選択。  
 それ以外の場合は「モノラル」を選択します。

※Subwoofer出力はSELEKT Edition DSM、MAJIK DSM/5のみに装備しております。



## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「Volume」

製品左下の「Edit Settings」をクリックすると、下記のウィンドウが表示されます。  
設定項目「Volume」の内容をご案内致します。



Volume Control: ON/OFF ONで可変出力、OFFで固定出力に変更できます。  
設定の繁栄にはSELEKT DSMの再起動が必要です。  
変更を行った場合、ウィンドウ下にRebootの文字が表示されますので  
これをタップもしくはクリックすると再起動が始まります。

※ ONの状態ですとこの項目の下に設定が表示されます。

Startup Volume Enabled: ON/OFF  
ONでスタンバイから起動した際に「Startup Volume」で  
設定した数値が反映されます。 OFFの場合は  
最後に使用したボリュームが反映されます。

Startup Volume : 上記の「Startup Volume Enabled」が有効の場合、  
起動時に表示されるボリュームの数値を変更することができます。

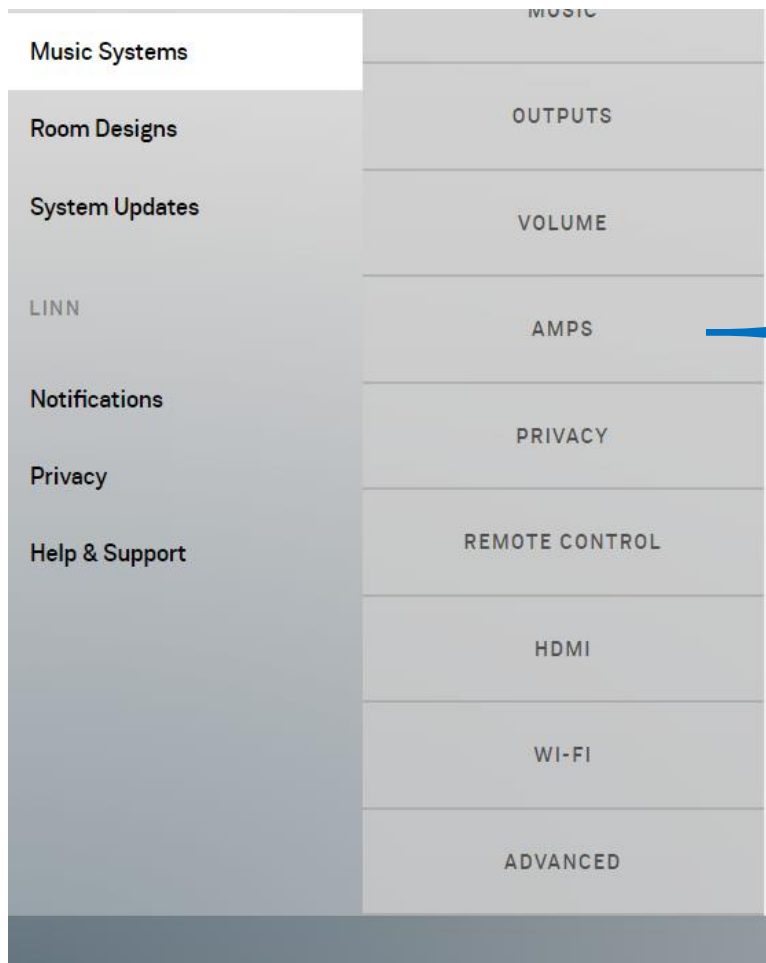
Balance: 左右のバランスの調整(デフォルト 0)。  
数値が「0」はセンターで、左右それぞれ15段階に設定が可能です。

MAX Volume : 最大ボリュームの調整(デフォルト:80 最大100)

Head Phones Volume Offset: ヘッドホン出力を持つDSMの場合は  
この項目でヘッドフォンのボリューム調整が可能です。

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「Amps」

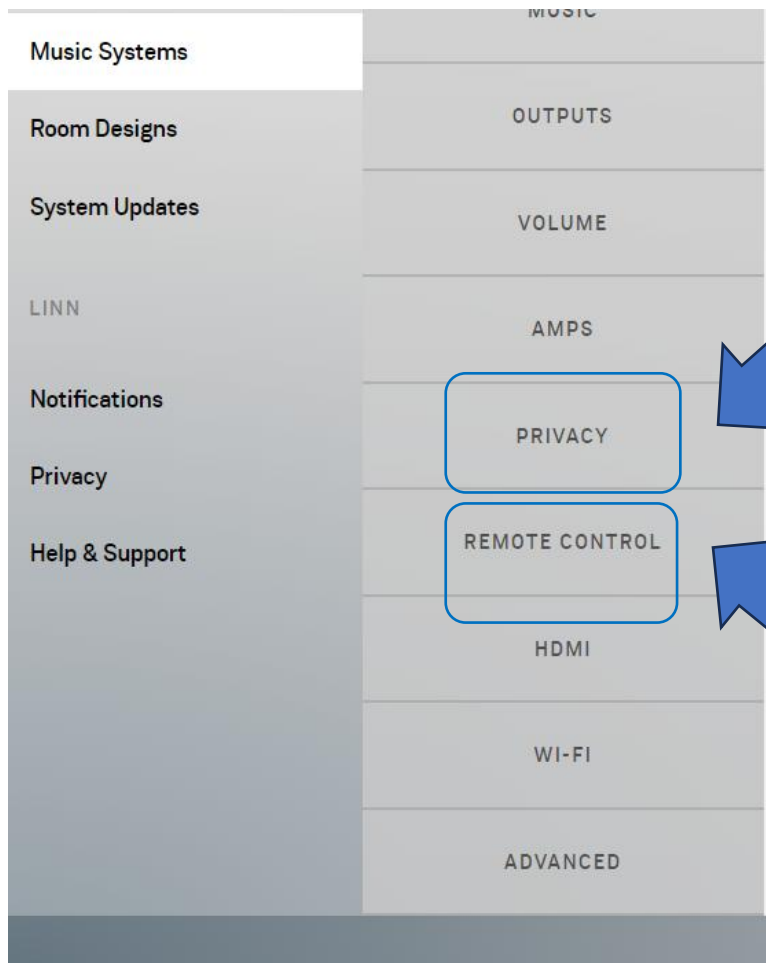
製品左下の「Edit Settings」をクリックすると、下記のウインドウが表示されます。  
設定項目「Amps」の内容をご案内致します。（MAJIK DSMのみ表示されます。）



Integrated Power-Amp: 内部パワーアンプのON、またはOFF (MAJIK DSM)

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「Privacy」、「REMOTE CONTROL」

製品左下の「Edit Settings」をクリックすると、下記のウィンドウが表示されます。  
設定項目「PRIVACY」、「REMOTE CONTROL」の内容をご案内致します。



### Send Anonymous Usage Stats :

LINN DS/DSMの使用状況データを Linn に送信できるようにするには、スライドを右に移動します。これは、新しい機能、製品の改善に役立ちます。

### Send Crash Reports :

障害が発生した場合に、クラッシュ データを LINN に送信できるようにするには、スライドを右に移動します。これは、問題の診断と修正に役立ちます。

### Button1 ~ 3 :

右記のリモコン REM020の中央十字キー下側にある3つのボタンに任意の入力を割り当てることができます。

変更したいボタンの右側にある矢印をタップすると割り当てられる入力ソースの一覧が表示されます。

### Accepted Commands :

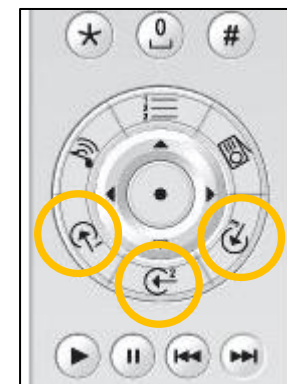
リモコンでの操作のON/OFFです。

None: リモコンでの操作を受け付けない

All: すべての世代のリモコンで操作可能

CD: CDモードを持つリモコンのみ操作可能

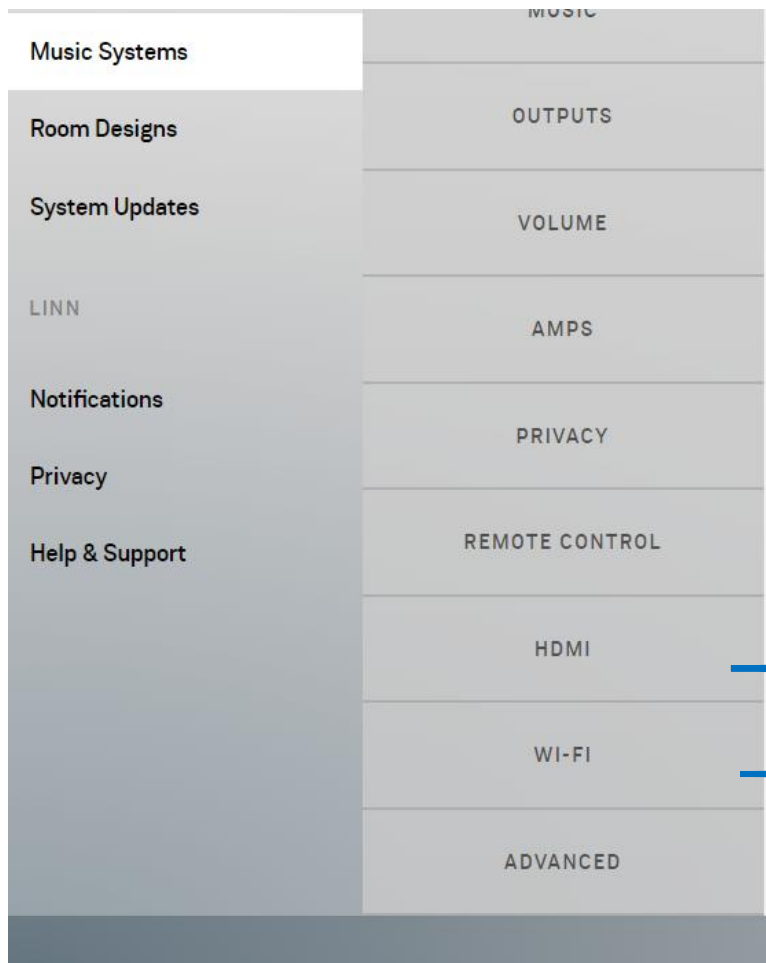
DVD: DVDモードを持つリモコンのみ操作可能



LINN リモコン REM020(生産完了)

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「HDMI」

製品左下の「Edit Settings」をクリックすると、下記のウィンドウが表示されます。  
設定項目「HDMI」の内容をご案内致します。



**HDMI :** HDMIの機能のON,OFFの設定が可能です。

### Pass-Through (Sleep) :

省電力を目的として、スリープ モード時に HDMI パススルーをしない場合には、「オン」を選択します。  
「オフ」に設定すると、テレビやBDプレイヤーなどを通じて HDMI ソースが認識されているため、スリープ モードでも HDMI パススルーが可能となります。

**eARC mode :** eARCモードをお使いの場合は、「Auto」を選択し、ARCモードのみお使いになる場合は「OFF」を選択してください。※再起動が必要となります。

**CEC :** ARC オーディオと CEC ボリューム コントロールを有効にするには、  
[オン] を選択します。

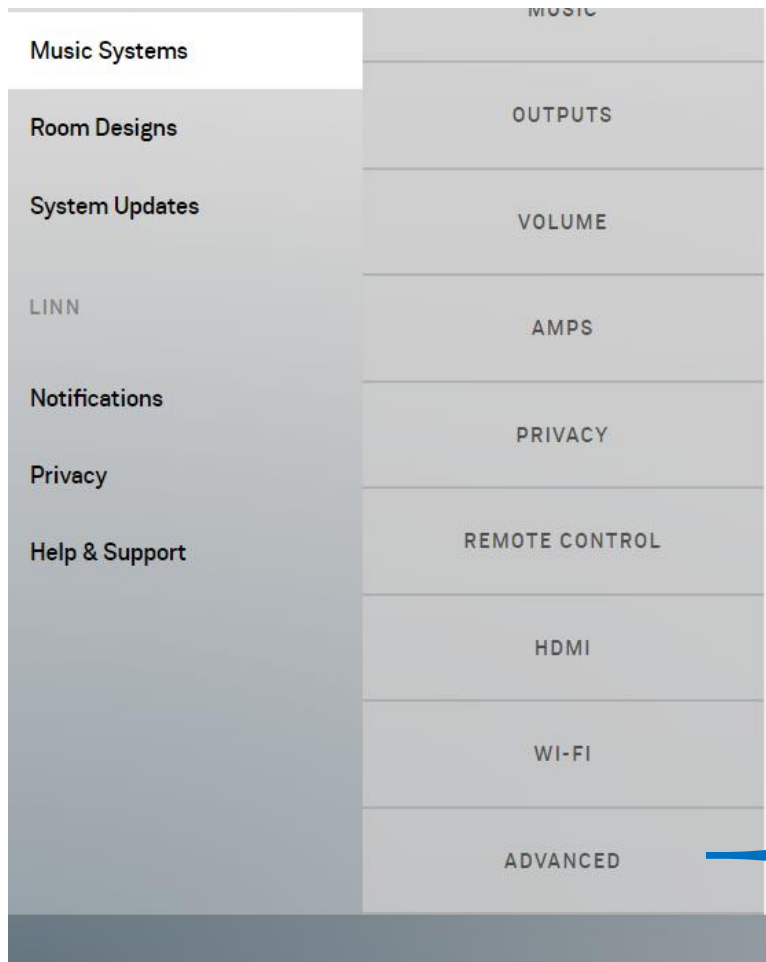
### CEC Auto Source/Power Control :

CEC 自動ソース選択および電源制御機能を有効にするには、  
[オン] を選択します。

**Wi-Fi Enabled :** Wi-Fi を使用してLINN DS/DSMをネットワークに接続する場合は、「オン」を選択します。  
それ以外の場合は、「オフ」を選択します。。

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「ADVANCED」

製品左下の「Edit Settings」をクリックすると、下記のウィンドウが表示されます。  
設定項目「ADVANCED」の内容をご案内致します。



**Video Sync Delay (ms):** 音声と外部の映像とのずれを少なくするために設定する数値。  
「Delay Mode」が「Video Sync」に設定されるソースのみに適用されます。

**Ethernet LEDs:** DS/DSMの背面にあるEthernet端子のLEDをONまたはOFFに設定可能。

**SONGCAST:** 同一ネットワーク内にあるSongcastレシーバーでDS/DSMを聴く事を許可する場合には「True」それ以外の場合には、「False」を選択します。

**Protocol:** ネットワークがマルチキャストを処理できる場合にのみ、マルチキャストを選択してください。

**Songcast Port:** マルチキャストSongcastに使用されるUDPポート

**Verbose Device Logging:** 詳細なデバイスログ) トラブルなど・詳細なデバイスログが必要な場合にのみ有効にします。

**Channel:** インストールするファームウェアの種類を選択できます。  
Stable・・・公式リリースのファームウェアのみ表示。 Beta・・・ベータ版のファームウェアも表示。

**CI Gateway:** カスタムインストールゲートウェイAPIを有効にします。

**Manifest Url:** 手動でファームウェアを変更するための項目。実際に変更する場合には、お求め頂いた販売店様、もしくはLINN JAPANへお問い合わせください。

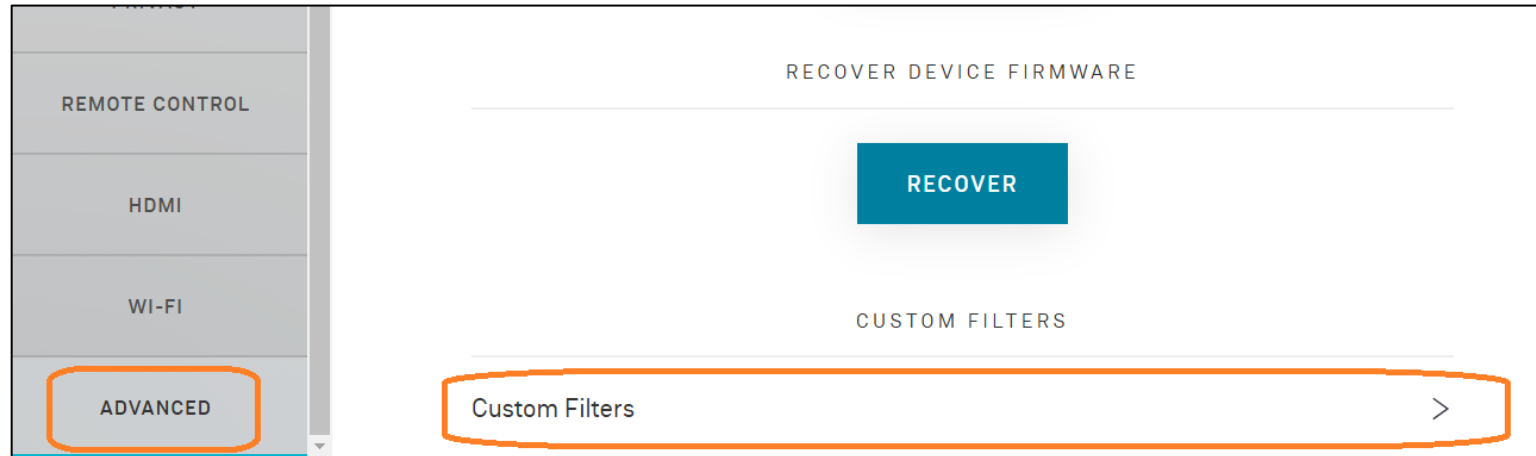
**Recover Device Firmware:** DS/DSMを初期設定に戻す際に使用します。

**Custom Filters:** DS/DSMに低域、高域に限定してフィルターを設定できます。  
※次のページで詳細をご案内致します。

## 「ADVANCED」 Custom Filter 設定方法 ①

「ADVANCED」の項目の一番下に「Custom Filter」という項目があり、Space Optimisationを使用している、していても、していない、低域と高域に限り、フィルターを設定することが可能です。下記にてその設定方法をご案内させていただきます。

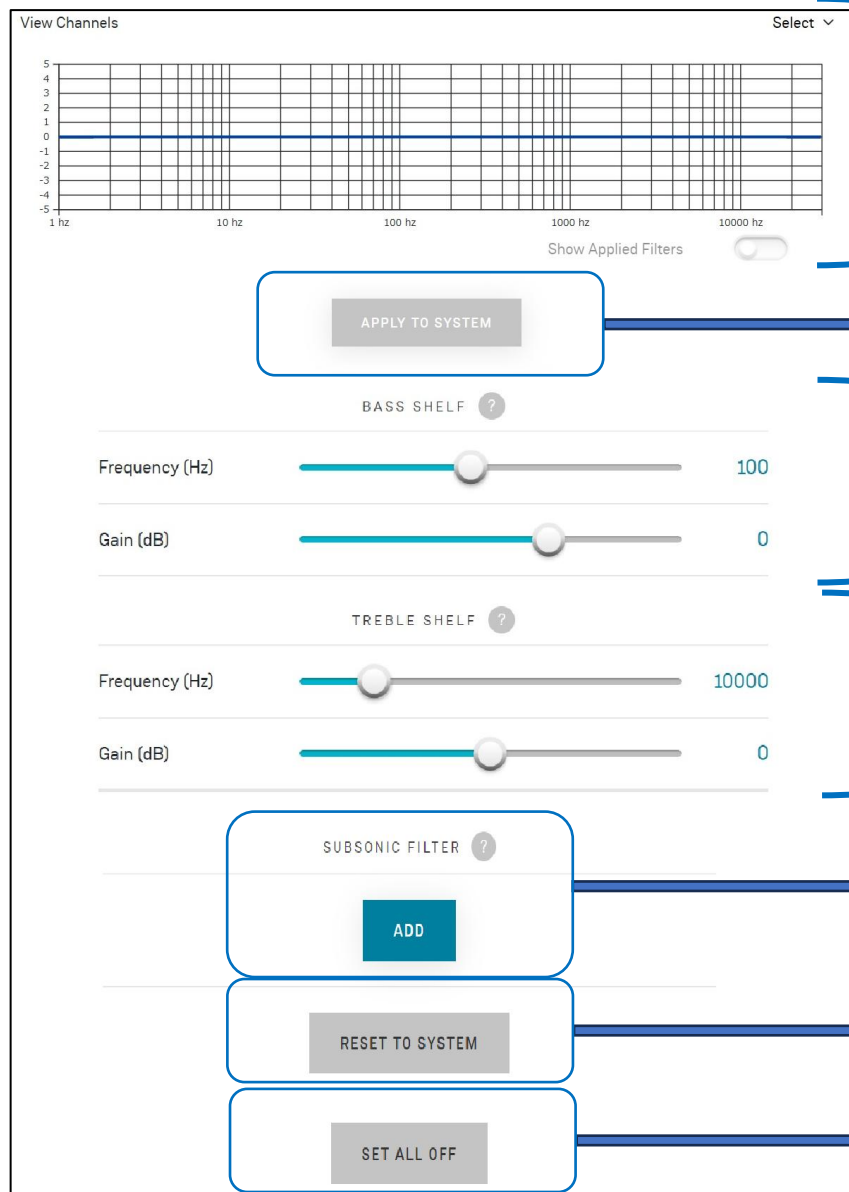
1. Manage Systemsの「ADVANCED」を選択し、右側のページを一番下までスクロールしますと「Custom Filter」の項目があります。この右端にある矢印をタップします。



2. Custom Filterの画面に切り替わります。次ページにて調整方法をご案内致します。



## 「ADVANCED」 Custom Filter 設定方法 ②



設定したフィルターが表示されます。  
低域、高域ともシェルフフィルターが設定されます。  
※特定の周波数のみを増減することはできません。

### <APPLY TO SYSTEM>

下記で設定したフィルターをDS/DSMに反映させる際のボタンです。下記のフィルターを調整後、このボタンをタップすると、DS/DSMへ反映します。

### <ベースシェルフフィルター>

周波数: 20Hz ~ 200Hz ゲイン: -6dB ~ +3dB

### <トレブルシェルフフィルター>

周波数: 8KHz ~ 20KHz ゲイン: -2dB ~ +2dB

### <サブソニックフィルター>

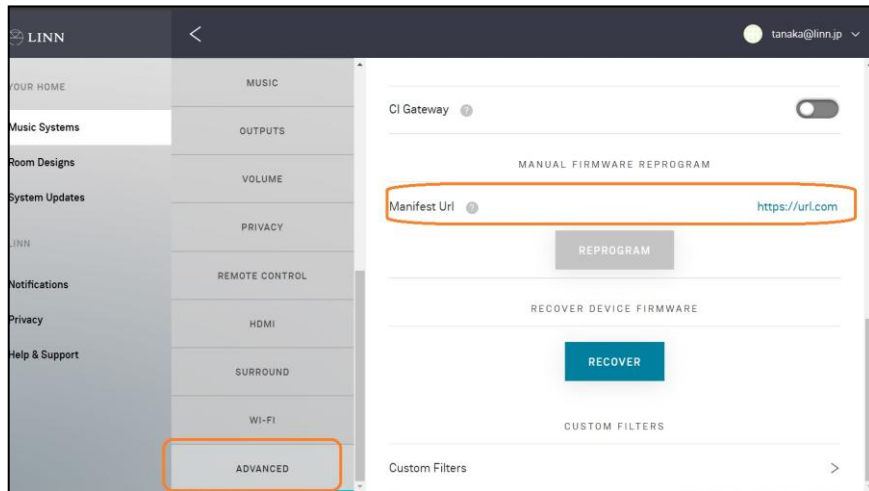
サブソニック フィルターは、中音域のパフォーマンスに効果的なメリットをもたらし、システム全体の音楽性を向上させます。フィルターのカットオフ周波数は、大型スピーカーの場合は約 7 ~ 12 Hz、小型のスタンドマウント スピーカーの場合は 20 ~ 30 Hz をご参考としてください。

RESET TO SYSTEM: 設定したフィルターをリセットします。

SET ALL OFF: 設定したフィルターをOFFにします。  
再度タップすると、設定したフィルターが適用されます。

## DS/DSMのファームウェア変更方法 「ADVANCED」→「Manifest Url」

1. LINNへ各機種モデル名、シリアル番号を伝え、適切なファームウェアのリンクを申請し、そのリンクが送られてきたことを確認します。
2. Manage Systemsへアクセスし、下記の画像のように「Advanced」から「Manifest Url」という項目に移動します。



3. 「Manifest Url」をタップ/クリックすると、LINKを入力する表示に変わるので、LINNから送られてきたリンクを貼り付け、もしくは入力します。



## DS/DSMのファームウェア変更方法「ADVANCED」→「Manifest Url」

4. リンクの入力が終了しましたら、「Enter」をタップ/クリックすると下記の画像のように、「REPROGRAM」が青く変わりますので、これをタップ/クリックすれば更新がスタートします。



MANUAL FIRMWARE REPROGRAM

Manifest Url ? <https://linn-artifacts-public.s3...>

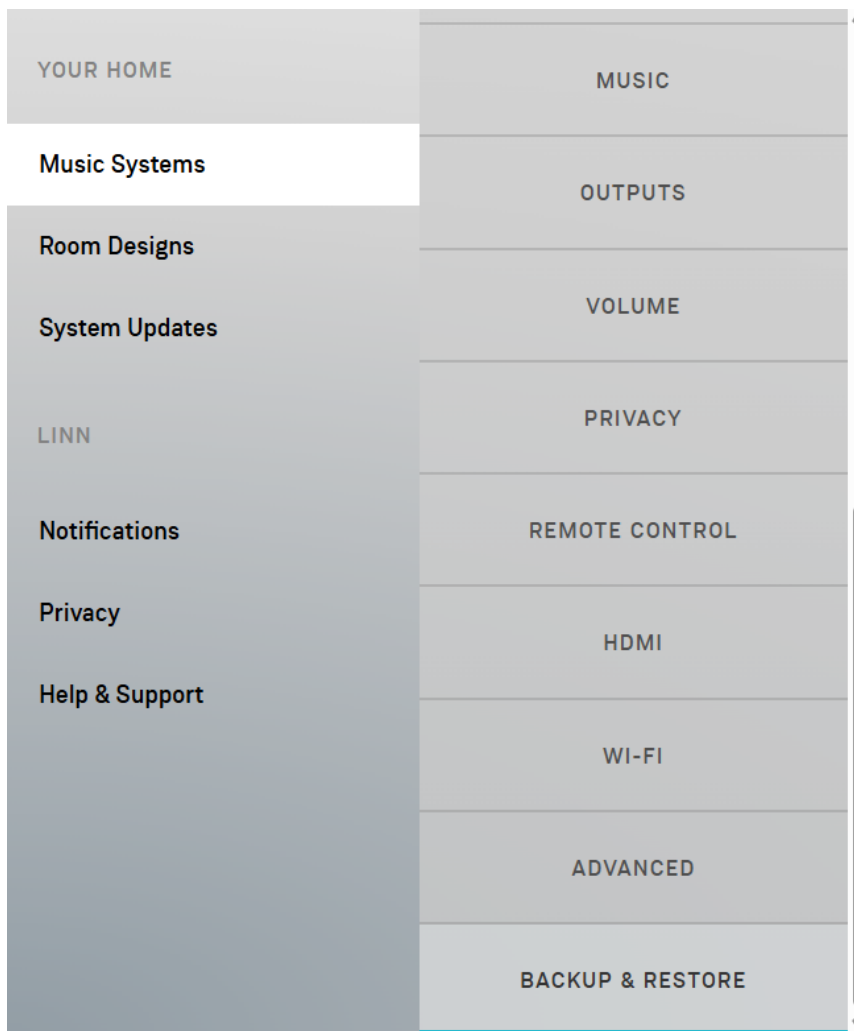
REPROGRAM

RECOVER DEVICE FIRMWARE

5. 更新は自動的に終了しますので、ファームウェアが変更されたかをManage Systemsのメニュー「GENERAL」の上に表示される「Firmware」か、LINN Appの「部屋」から該当する機器の右上「3つの点」から「システムインフォメーション」でご確認ください。

## Music Systemsの「Edit Setting」の項目 「BACKUP & RESTORE」

製品左下の「Edit Settings」をクリックすると、下記のウィンドウが表示されます。  
設定項目「BACK UP & RESTORE」の内容をご案内致します。



Create Back Up: 右側の「+」をタップすると自動的にDS/DSMの設定が保存されます。

保存された内容は日付と共に表示されます。  
※次ページでご案内致します。

保存される内容は、PIN、ソース名と設定、音量設定などが含まれます。

<下記の設定は保存されません>

Linn DS/DSM に接続された Exakt スピーカーのセットアップ。

Selekt DSM では、Selekt カートリッジの設定

現在使用されているスペースオプティマイゼーション

ボリュームオフセット

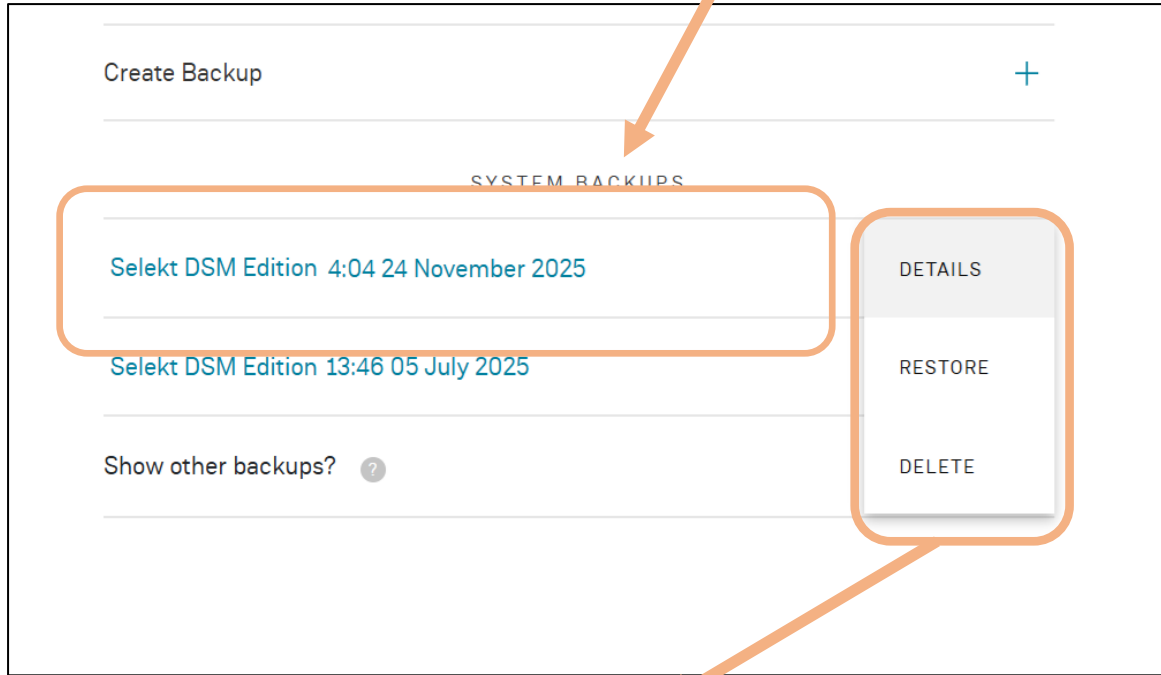
Delay(遅延設定)

Wi-Fi設定

ストリーミング サービスのユーザー名とパスワード。

## DS/DSMのバックアップ内容の表示

- ・前ページでご案内した「Create BackUp」をタップすると下記の様にバックアップしたモデル名と日付が表示されます。



- ・バックアップ名の右側にある3つの点をタップすると上記のように、「Details」、「Restore」、「Delete」と表示されます。各項目をタップすると下記の内容が表示されます。

**Details:** バックアップしたRoom ネーム、日付が表示されます。

**Restore:** 保存されている内容が表示され、ウインドウ左下に「Restore」のマークをタップするとそのバックアップ内容が読み込まれます。なお、元のDS/DSMへ読み込ませることは問題ございませんが、異なるDS/DSMにも適用することが可能です。その際、保存内容が読み込めないことがあり、その場合、エラーが表示されます。

**Delete:** このバックアップ内容を削除します。